

令和元年度あすなろ職業指導所指定管理者管理運営状況調書

担当課 障がい者支援課

評価基準	評価項目	指定管理者 自己評価	担当課評価	特記事項
市民の平等利用が確保	①利用者の平等利用の確保	B	B	
施設の効用（設置目的）が最大限発揮されるものであること	①施設の利用促進（利用者増）のための方策	B	B	
	②サービスの向上（質の確保）のための方策	B	B	
個人情報の保護	①個人情報保護のための方策	B	B	
危機管理体制	①施設の安全管理についての方策	B	B	
	②緊急時の危機管理のための方策	B	B	
	③要望及び苦情への対応	B	B	
現金の取扱い	①現金の取扱い等の経理処理が適切に行われるための方策	B	B	
指定管理に係る経費	①指定管理に係る収支見込について	B	B	
地元住民の雇用、物品及び役務の調達への配慮	①地元住民の雇用及び地元業者への配慮	B	B	
公契約条例に基づく賃金の確保	①公契約条例に基づく賃金の確保	B	B	
事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	①人員配置について	B	B	
	②職員の指揮監督・管理体制について	B	B	
	③人材育成の取組状況	B	B	

【総合所見】

当該施設は、平成 21 年度から社会福祉法人は一とふるが、指定管理業務を運営している。令和元年度から 3 期目を迎え令和 5 年度までが指定期間となる。障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービス事業所(多機能型事業所(生活介護及び就労継続支援B型))で、原則 18 歳以上の利用者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう食事の介護、創作的活動、生産活動の機会の提供や就労の機会を提供するとともに、その知識及び能力の向上に必要な訓練を提供している。

令和 2 年 1 月 1 日現在、生活介護 24 名、就労継続支援B型 22 名の利用者が通所しており、施設の運営管理については、おおむね事業計画に基づいた運営がされているが、年度途中で入職した正規職員 1 名が短期間で離職後、現在まで欠員が続いている。法人内部の職員の支援により、支援の質が確保されていることは評価すべき点ではあるが、人員配置を充足し、より望ましい支援環境を構築することを期待したい。

就労継続支援B型事業所の利用者に対する工賃についても、今年度については消費税増税の影響を受けつつも千葉県目標工賃 16 千円を超える水準で推移しており、利用者の経済的自立に寄与している。

令和元年 11 月 26 日に実施した施設の実地検査においては、緊急に危険な箇所は見受けられなかったが、旧棟の完成から約 45 年、新棟の完成から約 30 年が経過し、経年劣化による修繕等が今後必要になることが見込まれるため、指定管理者ともよく協議しながら施設の維持に当たる必要がある。

なお、社会福祉法人は一とふるの経営状況について、30 年度の法人単位資金収支計算書を確認すると、当期資金収支差額合計で支出が収入を超過しているが、そちらは施設修繕等の長期的計画のために資金を引き当てているためであり、手持ち資金は増加している。また、事業全体の事業収支は収入超過であることから経営は安定している。